



## 中学部 ようこそ先輩



12月3日(火)、高等部2名の先輩をお招きし、高等部の学習や生活の様子について聞く「ようこそ先輩」を行いました。

高等部の時間割を見ながら、新しく学ぶ教科や特別活動、行事についてなど、丁寧にわかりやすくお話していただきました。また、作業学習については実際に先輩方が作った作業製品を紹介していただき、日頃の努力が製品を通して伝わってきました。「高等部生活でがんばっていること」のひとつに先輩方は作業学習を挙げており、作業学習のやりがいや一生懸命に取り組んでいる様子について生徒たちは真剣な表情で聞いていました。

質問コーナーでは楽しい勉強は何か、作業班はどうやって決めているか等回答していただきました。また、高等部に入学するために必要な力は何かという質問では「何事も最後までやり抜く力」と答え、先輩方が高等部でしっかりと学んでいる姿が見て伺えました。

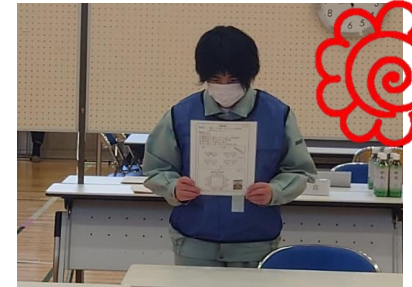
事後学習では、やってみたい委員会、作業学習などを選び、進学進級までの目標を立てました。生徒たちはやりたいことや楽しみなことをスムーズに選ぶことができ、高等部への期待が感じられました。今年度の「ようこそ先輩」も高等部のことを知ることで有意義な時間となりました。



## 第8回岩手県特別支援学校技能認定会

11月20日(水)に、第8回岩手県特別支援学校技能認定会(沿岸南部地区)が、釜石祥雲支援学校を会場として開催されました。本校からは2年生2名、1年生2名、計4名が参加し、見学した生徒も開閉会式で活躍しました。

技能認定会は、一般就労を目指す生徒の作業の様子を企業の方に評価していただき、就労に結び付けていこうとするものです。参加した生徒だけではなく、見学した生徒にも「働く力」がどの程度求められているかを認識できる機会となります。



今年度は「会場設営」種目が実施され、指示書を見て、長机と椅子の並べ替えをしたり、机の上の資料のセッティングをしたりする作業を行いました。作業自体は学校生活で行ったことがある内容でしたが、分からないことは質問するという仕掛けに、一生懸命に取り組もうという姿が見受けられました。

評価では技能面だけではなく、挨拶や報告・連絡・相談、指示を素直に聞くなど、働く上で必要な態度面が、どの生徒も評価されていました。





## 農福連携体験学習会



12月17日(火)にJAおおふなとさんのご協力のもと、農福連携体験学習が開催されました。例年同様、野菜出荷用(キュウリやトマト)の段ボールの組み立て、米崎リンゴの贈答用箱詰め作業、米崎リンゴの糖度調べ等を行いました。出荷用の段ボールは、JAスタッフさんが丁寧に組み立て方を教えてください完成することができました。段ボールの組み立ては、「見る」と「やる」のでは全く違い、かなり難しい作業でした。また、リンゴの「ふじ」と「サンふじ」の違いや岩手県はリンゴの出荷量が全国で3番目に多いことも学ぶことができました。JAおおふなとさんから米崎リンゴ1箱をいただき、全児童生徒が給食で食べました。



## 卒業生の様子

今回は昨年度の3月に高等部を卒業され、就労継続支援B型事業所「@かたつむり」に通所されている今野快星さんを紹介したいと思います。

快星さんは、小学部から高等部の12年間を本校で過ごしました。高等部3年生では、@かたつむりさんでの現場実習を経験し、初めて経験する作業にも繰り返し取り組むことで、できることを増やしていきました。通所された当初は、新しい生活や環境ということもあり、慣れるまでに時間がかかりましたが、今では、仕事に向き合う時間も長くなり、自分の任された仕事に集中して取り組んでいるそうです。

主に取り組んでいる作業は、椿茶の葉の拭き上げ作業に取り組んでおり、汚れの拭き取りは、職員の声掛けによって、できるようになってきているそうです。また、他の作業にも挑戦しようという意欲をもって日々の仕事に取り組んでいるそうです。

これからも快星さんを応援しています。



## 気仙地域20歳を祝う会

1月18日(土)、非営利型一般社団法人かたつむり主催の「20歳を祝う会」が大船渡町の「まるしち・ザ・プレイス」で開催されました。

令和4年度に卒業した9名のうち男性7名が出席しました。

【野田さん、及川さん、沼里さん、岩崎さん、石橋さん、大川さん、村上さん】

式に先立ち、本人や保護者、来賓、学校職員等が全体での記念撮影をしました。当時の担任であった村上みさと先生(釜石祥雲)は「スーツ姿でビシッと決め、卒業後2年間の成長した姿を見ることができて、とても幸せです」と語っていました。

これまでの思い出トークや幼い頃の写真がスクリーンに映し出され、和やかな雰囲気の中で会食がすすみました。

誓いのことばは、@かたつむりを利用している村上蓮さんが代表として述べました。「多くの方々に感謝の気持ちを忘れず、様々なことに責任をもてる立派な大人になります」と力強く決意を語りました。

